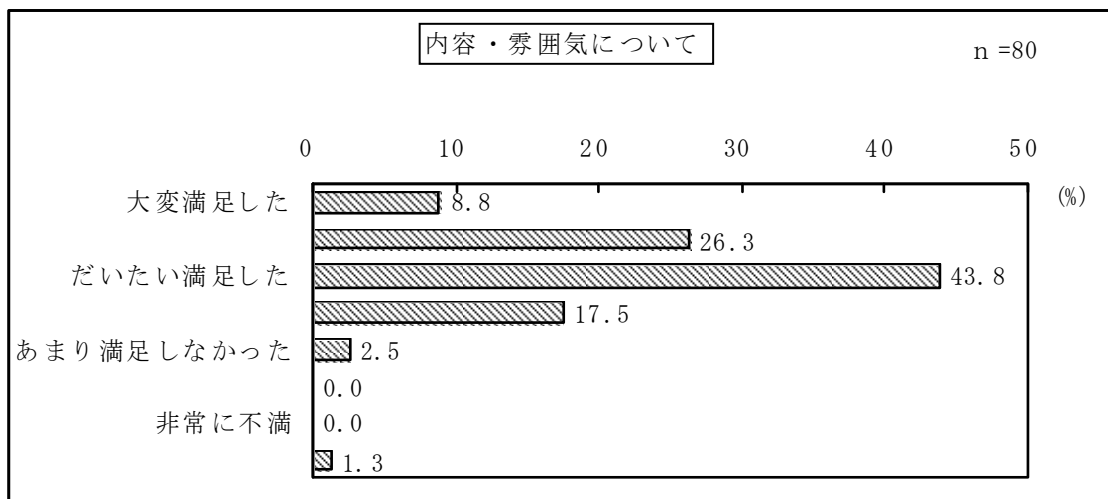


## 「市民参加懇談会 in 松江」についてのアンケート結果

1. 本日の「市民参加懇談会 in 松江」の内容、雰囲気について、あなたのお考えに最も近いものを番号に○印をお付け下さい。



### その理由について

#### < 1 > 大変満足した

- 国、県、市が開催するシンポジウムは、原子力賛成の立場で論議されている。一方、新聞その他ジャーナリストの文書は、反対の立場で論議されている。そのため、双方の意見が聞ける本懇談会は、非常に有意義であった。(お互い何を伝えたいのか、何が必要なのかよく分かった) (男性・40～50代)
- 原子力委員会が国民の意見を聞くという仕組みは、原子力に関して方向性を間違わないことについて有益と考えます。地域の人あつての原子力です。(男性・40～59代)
- 色々な角度からの意見があり、原子力についてより深く知ることができた。(20～30代)

#### < 2 > 満足した

- 松江市に原子力がありながら、積極的に考えた事がなく、良いきっかけになったため。(40～50代)
- 多様な意見に対して、座長さまの率直な回答ぶりが印象的でした。(男性・40～50代)
- 市民の意見として色々なモチベーションがあり、人と人とのコミュニケーションを通して、広く知識として吸収していくことが必要と感じられた。(40～50代)

- 原子力発電に関する様々な意見が聞けた事。(男性・40～50代)
- 公平な事実(チェルノ)を皆が知る事が出来た。(男性・40～50代)
- 思ったことを率直に言う人がいて、形式的だけで開かれたものとは思わなかった。参考になり、よかった。(男性・60代以上)
- 賛成・反対の立場にこだわらず、自由に意見を述べる懇談会であり、よかった。(男性・60代以上)
- 新聞やニュースからでは得られない“市民の声”を“生”で聞くことができたから。(女性・40～50代)
- 種々の意見を聞くことができた。(男性・40～50代)
- 色々な意見が聞けた。(男性・40～50代)
- もう少し市民の目線での(議論)発言を期待していた。登壇者が言われる様な発言にもっと反応して欲しい。自分自身に関心をもたれる様な場面を多くしてほしい。(男性・40～50代)
- 色々な意見があり、幅広く理解できた。勉強になりました。(40～50代)

### < 3 > だいたい満足した

- 安全対策に(協議会)一般の人も参加すると良い。上の方で話をしているが、下に下りてこない。(60代以上)
- 初めて参加して、内容もよかった。(40～50代)
- 念頭になかった「ヨウ素剤」の話も出て参考になった。
- 色々な考え方があることがわかった。(20～30代)
- 意味のある率直な意見交換であった。(40～50代)
- 賛成か反対ではなく、原子力に対し思いを素直に意見が言える場が持たれた事が良かった。最終的に出された意見が反映出来るのかが大切だと思います。(40～50代)
- いろいろな方(市民、コアメンバー)の意見、考えを生で聞くことができた。(男性・40～50代)
- いろんな情報を得ることができ、大変良かった。(男性・40～50代)
- 新しい情報を入手できた。(40～50代)
- 推進派と反対派(慎重派)の双方の意見が聞けた。(40～50代)
- 本音の意見も出ていた。(男性・60代以上)
- 自分の考えていない意見と違った考えを聞くことができ、参考になった。(日々の知識の取得が大切である)(男性・60代以上)
- 日々の生活で感じる事の出来ない事を感じる事ができるから。(男性・20～30代)
- 今後の防災対策の方向性。(男性・40～50代)
- 様々な考え、意見を聞くことができた。(男性・40～50代)
- 会場からの意見がもう少しあるかと思った。松江プルサーマルに関心も高い催しは良かったと思う。(男性・40～50代)

- 発表者、コアメンバー外との話が、比較的かみ合っていた。(男性・60代以上)
- 賛成・反対ということではなく、気軽な懇談会でよかった。(男性・40～50代)
- いろいろな意見が自由に出されていた。(男性・40～50代)
- 用意されたシナリオがない自由な意見交換であった。(男性・40～50代)
- 多方面の参加者から意見を聞く事は良いこと。(40～50代)
- 参加者それぞれの自由意見が聞けた。(男性・40～50代)
- 地元の発言者を、どのようにして選任されているか分かりませんが、発言が一様であった。もう少し、賛否の両極の話があった方が参考になったと思う。応募者の中から、発言希望者を募り、バラエティーにとんだ話になるような選任をして欲しい。プルトニウムの話が深く知りたかった。原発に対する認識が高まったことは事実です。(60代以上)

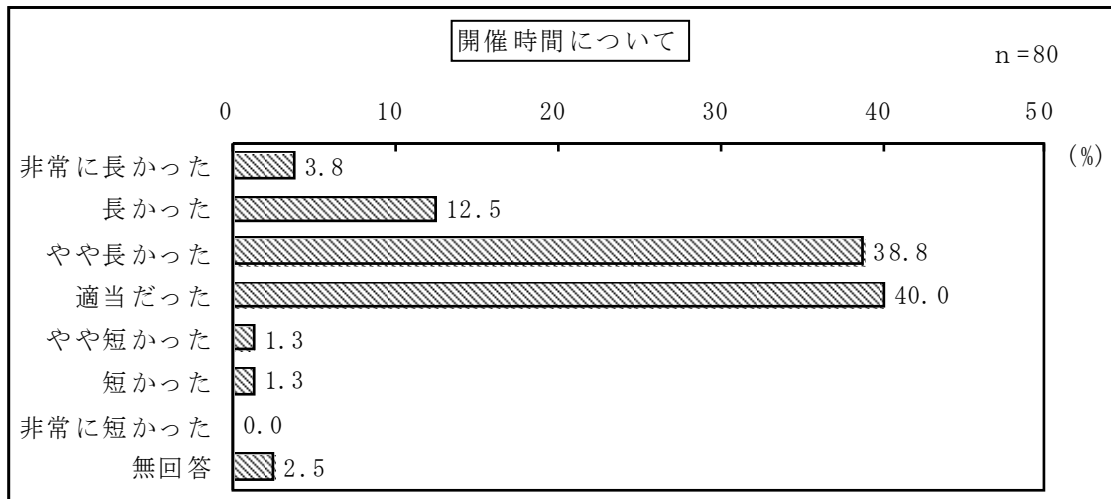
#### <4> ふつう

- 定期的に開催してもよい。情報の公開をもっと多く。(男性・60代以上)
- その人により見る角度と考えが違うと思いました。でも皆様の意見がとっても良くわかり、参考になりました。(女性・60代以上)
- もっと色々な人が参加（聴講）したらよいと思います。(男性・40～50代)

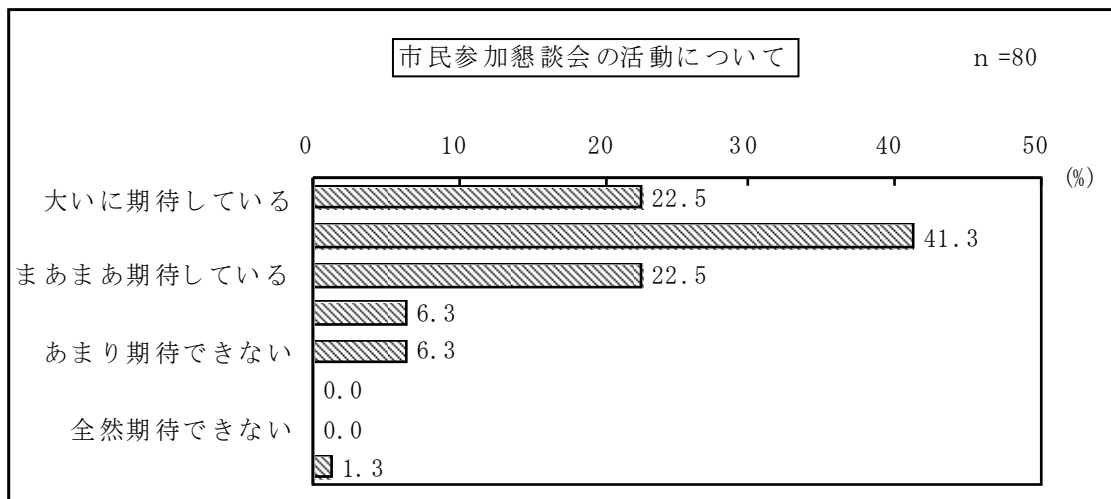
#### <5> あまり満足しなかった

- ・活断層やプルサーマル等について質疑がなされていることは想定できたはずなのに、それに正面から回答できる人間が参加していない。・話の核心をそらすようなやりとりがあった。(アンケートのとり方とか、鹿島町合併の理由とか)・反対派の人の意見を自分に都合の良い部分を強調して言っているように感じた。(役所の対応等) (男性・20～30代)

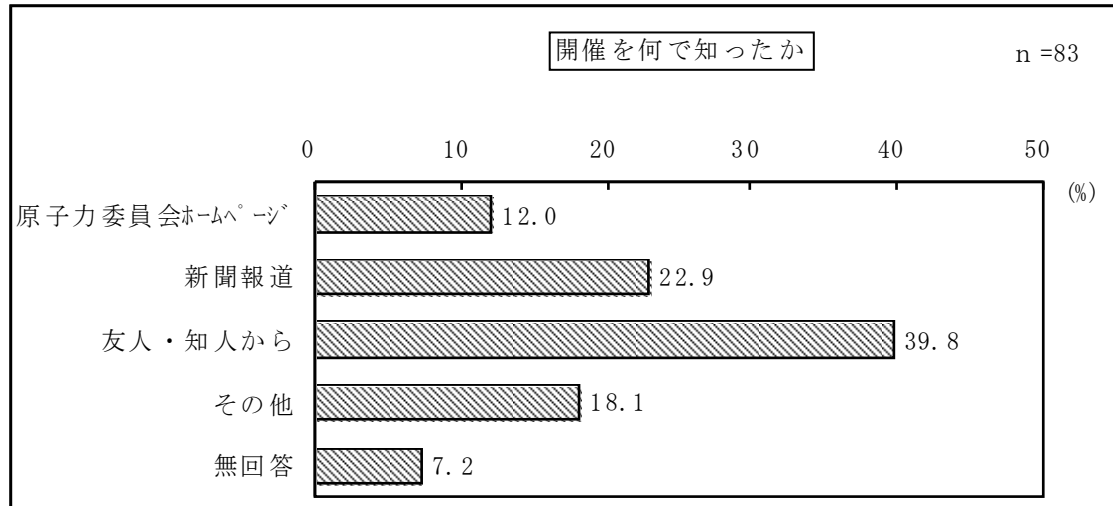
2. 本日の「市民参加懇談会 in 松江」の開催時間（3 時間）について、あなたのお考えに最も近いものの番号に○印をお付け下さい。



3. 今後の市民参加懇談会の活動について、あなたはどのように思われますか。あなたのお考えに最も近いものの番号に○印をお付け下さい。



4. 本日の「市民参加懇談会 in 松江」の開催を何でお知りになりましたか。



5. 本日の「市民参加懇談会 in 松江」で、あなたにとって興味深かった意見や事項、その他お気づきの点などがあればお書きください。

<市民参加懇談会について>

- ☐ 原子力の必要性については、日頃から理解しているつもりであったが、本日出席して感じたのは、まだまだ知識が浅いと思う。したがって、このような懇談会はもっと頻繁に開催すれば、広報活動の中で大いに役立つ。
- ☐ いろいろな立場からのお話を聞き、大変よかった。
- ☐ 参加者からの意見もあったが、定期的に開催してほしい。
- ☐ 是非、1回/年 実施していただきたい。(40～50代)
- ☐ 開催について、もっと市民（電力や行政関係者を除く）が身近に参加できるように周知すべきだ。少なくとも2～3年に1回ぐらいはこのような会を松江で開いて欲しい。  
(男性・20～30代)
- ☐ 高田先生の、チェルノブイリ原発の甲状腺ガンにかかり死亡した人数と、甲状腺ガンにかかった原因の説明。(男性・40～50代)
- ☐ 土日開催で余裕のあるものに。(男性・40～50代)
- ☐ 全体の話聞いて、原子力に対して関心が深まった。(男性・40～50代)
- ☐ 放射能の事が分かり、良かった。(男性・40～50代)
- ☐ 高田氏の説明で理解が深まった。(男性・60代以上)
- ☐ 開始時間が勤務時間等の関係で聞けなかった方もおられたのでは。曜日、時間設定等を考えた開催を希望します。(40～50代)
- ☐ この会の意見等を原子力委員会に報告・提案するのが目的との事ですが、具体的にどの

ような提案がなされるのか不明です。本日の配布資料の中に入れるべきでは？

(40～50 代)

- もっと多くの人に参加してもらえる方法、時間帯、事前PR 等について工夫して頂きたい。(40～50 代)
- 平日の 17:30 開催は、一般の人には参加しづらいのでは？ (男性・40～50 代)
- 原子力委に対しても意見は安全ばかりになってしまうのが現実でしょうか。委員長の話は良かった。(男性・40～50 代)
- 賛成・反対の発言の中にはそれなりに納得のいくものがあるが、今ひとつ立場を考えてみると、一方的な偏りの考え方も散見される。こり固まらないことが大切と思う。(男性・60 代以上)
- 原子力医療に関する話。情報を得るために、このような懇談会の重要性を感じた。(女性・40～50 代)
- まとまりのない、長い話が多いと感じた。(男性・40～50 代)
- ①平日の 17:30 開始は、市民が幅広く参加できる時間ではない様な気がします。②予算の関係もあるのですが、開催にあたって、PR が少ないのではないのでしょうか。③会場設営が良かったと思います。(男性・40～50 代)
- ・病院での放射線の管理が充分になっているか心配である。・片寄った情報しか受け付けない発言があった。(男性・40～50 代)
- 平日の夕方開催は参加しにくい。もともと難しいテーマの会であるので、参加し易い工夫が必要であると思う。(40～50 代)
- 高田さんが云われた、放射線知識には興味があった。不安はある程度あるものであるが、安心を与える事実は、現実に応用できるものであり、いいと思う。(男性・40～50 代)
- 放射線防護についての説明 (60 代以上)
- 知りたい情報は自分から取り寄せる事が基本と思います。しかし、定期的にこのような懇談会は非常に良いと思います。・言葉がよく聞き取れない個所があり、残念でした。(男性・40～50 代)
- 避難、防護についての話は有意義でした。「知りたいこと」は原子力発電の安全性、危険性、重要性ではないのでしょうか。賛成派と反対派で議論を交わしてもらう方が見ていてわかり易い。(男性・20～30 代)
- 意見発表者から現状の問題点が少し出されてきたことは、国としてしっかり受け止めて考えて欲しい。(男性・40～50 代)
- 中電・県・市・国などは、安全、安全と念仏を唱えるように吹聴しているが、東京湾に一基でもつくってから言うて欲しい。岡山の水力発電所、隠岐の火力発電所に関するデータ改ざんの件があり、中電は県民の信用が失墜しているが、国は、そのデータのチェックが出来ないと、入り口に近い席にいらっしゃった方から伺いました。そうだとすると、私達県民は何を信じて生きればよいのでしょうか。原発になればもっと複雑で恐ろしいものだと思うが…。今松江ではプルトニウムの話で沸きかえっている。次回楽し

みにしています。(60代以上)

<情報提供・収集のあり方について>

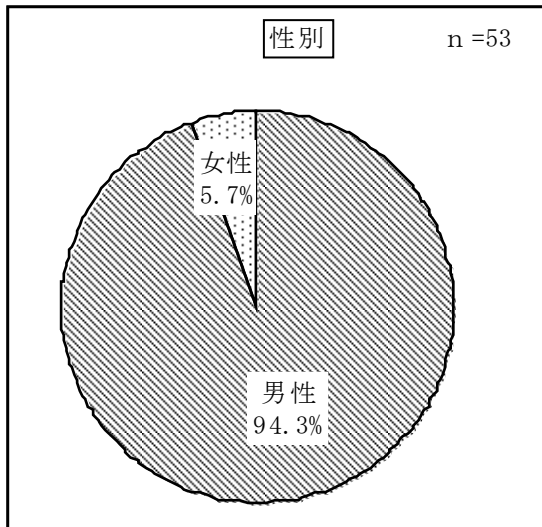
- 原子力(発電)については良い情報・悪い情報とあり、その人にとって必要な情報をすべて発信するのは難しいとは思いますが、一般市民としては第三者機関なりリーダーシップをとってトップダウンでやって欲しいです。(40～50代)
- メディア情報も含め、両論併記(原文どおり)すべきという意見は最もな話。極論もあるが、冷静な議論が成長してほしい。(40～50代)
- 情報をきちんと伝える事。(通常時・災害時共)県庁の南に出来た施設が、はじめは、こんな建物を建てて、との思いもありましたが、情報をきちんと伝えるためのランドマークになり、体系が整う事を願います。(男性・40～50代)
- 原子力委員会の役割をもっと明らかに広報すべき。(男性・20～30代)
- 原子力を含めたエネルギーについて、正しい情報を伝え、判断できる教育制度の向上、高度化を望む。(男性・40～50代)
- 放射線等について、自分の無知を知らされた。原子力に関する正しい情報を正しく理解して行くことの重要性を痛感。そのためにも、行政、事業者による積極的な広報活動を求む。(男性・40～50代)
- 科学、技術を正しく伝えることが大切。(男性・40～50代)

<その他>

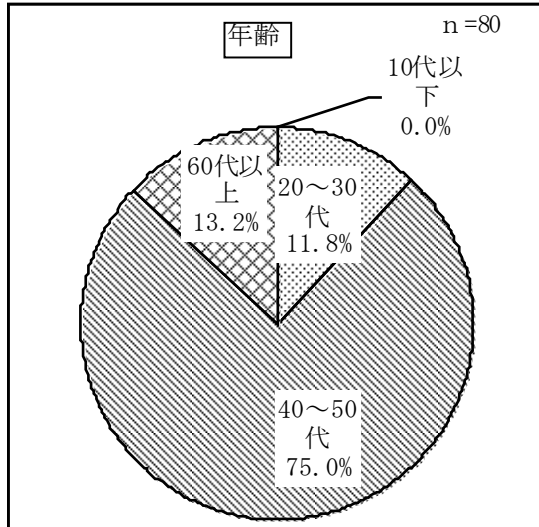
- 原子力発電、核融合について勉強したいと思った。(40～50代)
- 事故を市民に知らせる無線・逃げる道・誘導する人・医師に教育をする必要がある。(現在よく使うのに無口とは怖いです。)(女性・60代以上)
- CO2対策、資源確保が現実的な問題として迫ってきつつあると思う。責任ある国としての姿勢を見続けてほしい。(40～50代)
- 電源立地交付金の制度に問題があると思います。その理由は、利益誘導のような感じがしてならない。エネルギーは何にも交付金を出さなくても、国民全体に関わるものだから必要ないと思います。何か交付金によって判断が変化するような気がしてなりません。何かの場でコメントいただきたいです。(40～50代)
- 今後の人材育成について。(20～30代)
- 防災の話になると延々と続きそうで、これからどう対応されるのか関心を持って見守りたい。(男性・60代以上)
- ・環境問題に対応するために、もっと現実的な議論をすべき。エアコンを使わないで対応が可能だとするような意見があまりにも大きすぎる。・エネルギー政策の根幹をなす原子力開発については、民間事業者に任せるのではなく、国策としてもっと国が関与すべきと考える。(男性・40～50代)

6. 差し支えなければお答え下さい。

(1) 年齢



(2) 性別



以 上